

平成 25 年 11 月 2 日（土）朝 9 時 30 分いわて花巻空港に着きました。「東北へ行くダウンコートがいる」と 30 年ぶりに一着新調しました。が、大変暖かい北東いわて花巻くうこうでした。ちょっとガッカリでしたが、旅行するには、ちょうどいい気候でした。立命館大学校友会東北応援ツアーの皆さん 28 名とまず陸前高田市へと向かいました。車内で自己紹介、皆さんの東北への思いが伝わってきました。バスガイドさんの楽しくてためになるおしゃべりを聞きながら、車窓の景色を楽しみました。気仙川の流れは美しく北上山地の山々は紅葉が進んでいました。峠を越えてまず見えたのは、奇跡の「一本松」手を合わせました。2 年前にみた同じ「一本松」です。今回は遠くからの再会でしたがしっかり立っていました。被災記念碑の前で「被災地ボランティアガイド」さんのお話を聞かせていただきました。「今私達が立っているのは JR 釜石線陸前高田駅前です」と大きな 3 月 11 日以前の高田駅前のパネルをかかげられてました。パネルには 3 月 11 日以前の日本のどこにである地方の中間都市、アーケード、看板、車、行きかう人々、が写っていました。今、その写真と同じものは高田駅前の大きなモニュメントの礎石だけでした。京都駅前から烏丸通りを北に見て何もない烏丸通りを北に見て何もない烏丸通りを考えたくありません。「ボランティアガイド」さんのお話を聞きながら市内をバスで回りました。2 年前よりも建物解体、「ガレキ」の分別撤去がすすみ、土地の嵩上げの土の大きな土台と復興が少しずつ進んでいました。しかし「ガイド」の「津波てんでんこ」のお話は何度聞いても胸がつまります。地元の校友の皆さんともたくさんのお話をさせて頂きました。佐野さんの今でも常にカバンに懐中電灯。鈴木さんの「一本松のそばで過ごした 3 月 11 日から 3 日間の事。皆さんいっぱい苦勞を背負っていらっしやるとは思えない笑顔でした。全国の立命館大学校友の皆さん。東北岩手はいい所です。おいしい空気。おいしい食物、やさしい人情。美しい山川海。あったかい温泉。ほっこりする遠野民話。いっぱいあります。全国の立命健児の皆さん。必ず一生に 1 回、北東にあそびに行きましょう。東北岩手の皆さんありがとうございました。

平成 25 年 11 月 11 日（木）（雨）

石川博一